



おにくるでつくろう はじめてのマルシェ

第2回
発信するコトを
考えよう



開催概要

2025.8.2 (土)

14:00~16:00

会場

茨木市・文化子育て複合施設

おにくる7F 市民交流スペース

参加者数 15名

プログラム

1. 交流time
2. 前回のふりかえり
3. 発信するコトを考えよう
株式会社PRリンク
神崎英徳さん
4. 今日の講座の感想
5. アンケート・次回の案内

共同開催

茨木市

茨木市文化・子育て複合施設おにくる

(指定管理者 おにくるみらい)

茨木市市民活動センター きやぱす

(指定管理者 いばらき市民活動推進ネット)

講演「発信するコトを考えよう」—— 共感が人を動かす時代

「はじめてのマルシェ」第2回の講師は、株式会社PRリンク代表 神崎英徳さん。長年企業やNPOを広報で支援されてきたご経験から、情報発信において何を伝えるべきかをお話しいただきました。



神崎英徳さん

神崎さんは、「広報は“言いたいことを伝える”ではなく“相手との関係構築を考えて情報発信する”こと」だと言います。時代とともに、人々の価値観や行動プロセスは大きく変化してきました。「今は“共感”から始まる時代。商品の良さだけでなく、そこにある思いやストーリーが人を動かす」と強調しました。ストーリーを考える上では、ターゲット（誰に）やゴール（どうなってほしい）を定めて、情報を整理していきます。活動の「社会性」や「独自性」を分析・整理しておくことも重要だそうです。

そして、「ストーリーは、成功談よりも悩みや失敗談のほうが共感されやすい」とのこと。人の顔が見える形で体験談を発信すると、共感を呼び応援してもらいやすくなります。講座の後半には、

- ターゲットを絞る
- 五感に訴える
- 数字やデータで信頼感を得る

など、キャッチコピーを作るコツも紹介され、SNS発信やチラシ作成に役立つテクニックが満載でした。

最後は、自身の活動を25文字で伝えるワークを。「伝えたいことがたくさんあってまとまらない」「しっくりくる言葉を探すのが難しい」と皆さん



頭を悩ませていましたが、「思い」を言語化し、自身の活動を見つめなおす貴重な時間になったのではないでしょか。

ふりかえり「一人では気づけない学びがあった！」

最後は、グループごとに気づきや感想を共有しました。講義やワークを通して「活動についてここまで深く考えたのは初めて」という声も。神崎さんの「SNS時代には共感が大切」という言葉には、納得した人も多かったようです。講義や参加者同士の意見交換の中で、これから活動へのヒントが見つかったのでは？

次回は、いよいよブース作りについて考えます。マルシェが形になっていく大きな一歩を、一緒に楽しんでいきましょう！



次回：9月6日（土） 14:00~16:00 「ブース作りを考えてみよう」

講師 増田たくみさん（トゥーキャンコンサルティング）